

大豆イソフラボン分析のご案内

大豆には、ダイゼイン、ゲニステイン、グリシテイン及びそれぞれの骨格を有する配糖体、マロニル体及びアセチル体の合計 12 種類のイソフラボンが含まれています。

弊財団では、これら大豆に含まれるイソフラボン類の総量を分析する「大豆イソフラボン」、及び平成 18 年 8 月 23 日に厚生労働省から出された食安発第 0823001 号「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品等の取り扱いに関する指針について」に沿った「大豆イソフラボンアグリコン(アグリコン当量)」の分析を受託しております。

大豆や大豆加工品中に含まれているイソフラボン量を測定したい、最終製品中の含量を確認したい、といったご要望のお客様は是非ともご利用ください。まずは、お気軽にお問い合わせください。

項目名	大豆イソフラボン	大豆イソフラボンアグリコン(アグリコン当量) ^{※1}
対象品	大豆及び大豆加工品	大豆イソフラボンを含む特定保健用食品及びいわゆる健康食品、大豆、大豆加工食品
検体必要量	大豆そのもの：50 g 以上 液体：20 mL 以上 大豆加工品：20 g 以上	大豆そのもの：50 g 以上 液体：100 mL 以上 大豆加工品：20 g 以上
分析方法	高速液体クロマトグラフィー	食安発第 0823001 号「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品等の取り扱いに関する指針について」
定量下限	0.5 mg/100g	—

※1：食安発第 0823001 号「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品等の取り扱いに関する指針について」で、大豆イソフラボンを含む特定保健用食品については上乗せの一日摂取量が「大豆イソフラボンアグリコン」として 30 mg を超えないこと及び含有量の表示をすることになりました。また、大豆イソフラボンを含むいわゆる健康食品についても、特定保健用食品と同様に扱う必要があるとされています。

大豆に含まれるイソフラボン類

アグリコン	配糖体	アセチル化配糖体	マロニル化配糖体
ダイゼイン	ダイジン	アセチルダイジン	マロニルダイジン
ゲニステイン	ゲニスチン	アセチルゲニスチン	マロニルゲニスチン
グリシテイン	グリシチン	アセチルグリシチン	マロニルグリシチン

また、大豆由来でないイソフラボン（プエラリン、ホルモノネチン、ビオカニン A など）の分析や、その他ポリフェノールを総量として評価する「ポリフェノール」など、弊財団では数多くの植物由来機能性成分の分析や機能性評価のための試験を受託しております。

ご不明な点がございましたらお気軽に、お問い合わせください。